



あさのちゃんねる

特集

骨を強くして、毎日をイキイキ!
骨折リエゾンサービス(FLS)の役割

vol.58

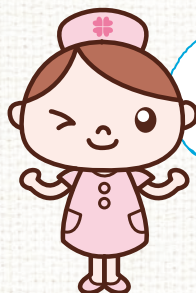
2026年 夏号
(年4回発行)



連携登録医のご紹介

山田耳鼻咽喉科医院

院長 山田 健太郎 先生



骨密度、最近
測っていますか?
この機会にチェック♪

病院の理念

救急から在宅まで、地域の医療を守り支える病院を目指します。

病院の方針

【地域連携】医療・介護・福祉が一体となった切れ目のない医療サービスを提供し、地域医療の充実に努めます。

【救急医療】断らない救急医療を目指します。

【予防医学】健康診断を推進し、病気の予防・早期発見に努めます。

【チーム医療】患者さん中心のチーム医療を実践し、安全・安心で質の高い医療の提供に努めます。

【人材育成】次代の医療を担う信頼される人材の育成に努めます。

特集

骨を強くして、毎日をイキイキ！ 骨折リエゾンサービス (FLS)の役割

当院では脆弱性骨折を経験した患者さんに対して、多職種の専門チームが連携し、骨折の連鎖を防止する骨折リエゾンサービス(FLS:Fracture Liaison Service)という取り組みを行っています。多職種の医療スタッフが専門性を生かしながら治療に介入することで、“イキイキとした生活”を取り戻すサポートをしています。

多職種によるFLSチームで 二次性骨折を防止する

脆弱性骨折とは、骨粗鬆症が原因で、わずかな力が加わっただけで生じる骨折のことです。例えば、立った状態からバランスを崩して転倒したり、灯油タンクなど重い物を持ち上げたり、トイレに座った時、時にはくしゃみをしただけでも骨折することがあります。骨がもろくなると、日常生活の軽い衝撃で骨折してしまうことがあり、さらには1箇所目の骨折をきっかけにして、「運動機能の低下」から「さらに骨密度が下がる」という悪循環に陥り、次々と骨折を引き起こしてしまう骨折の連鎖(ドミノ骨折)に陥ることもあります。高齢者の場合、太ももの付け根にある大腿骨近位部を骨折してしまうと、長期間歩けない状態が続くことで筋力が落ち、寝たきりや要介護状態になってしまうことが多くみられます。初めての骨折から1～2年以内に再度骨折を起こすことが多く、とにかく早期の治療開始が重要です。

当院では骨粗鬆症が原因で脆弱性骨折を起こした患

者さんに対し、多職種が連携した医療チームで骨折リエゾンサービス(FLS=Fracture Liaison Service)という取り組みを行っています。FLSチームのメンバーは整形外科の医師をはじめ、整形外科の外来看護師と病棟看護師、薬剤師、理学療法士、管理栄養士、事務スタッフで構成し、6名の骨粗鬆症マネージャーの有資格者が在籍しています。

骨折リエゾンサービスの「リエゾン」には「つなぐ」「橋渡し」「連携」といった意味があり、医師とその他の医療スタッフ、そして、かかりつけ医との「連携」をスムーズに行うことで、骨折の連鎖を防止することを目指しています。

当院のFLSが国際評価で ブロンズ賞を受賞

FLSチームが介入し、自分らしい生活を取り戻した患者さんはたくさんいらっしゃいます。例えばある70代の女性患者さんは以前、他院で骨粗鬆症治療をしていましたが、体調不良で中断してしまい、その1年後、

骨折を起こして当院に入院しました。入院中、骨粗鬆症治療をスタートすることになりましたが、継続できるか不安で悩んでおられました。そこでチームで連携し、スタンプ式自己注射治療の骨形成促進剤を提案したところ、「これなら、私にもできる」と治療に取り組むこととなりました。FLSチームで病状や個性を共有し、数ある治療薬の中から最適な薬剤を選択。看護師と薬剤師が連携して自己注射の指導をしたことで、無理なく治療を継続できた好例といえます。現在、この女性患者さんは無事に退院し、趣味である歌をイキイキと楽しまれており、私たちもうれしく思っています。

骨粗鬆症の治療は年単位で根気強く続けることで結果が出るため、“継続すること”が大事です。FLSチームでは医師が開始した骨粗鬆症治療を多職種が連携してサポートし、継続させることで二次性骨折や再骨折を防止します。薬剤師は薬の飲み合わせのチェックや服薬指導を行い、看護師は各職種の調整役の他、病棟で薬剤師と一緒に骨粗鬆症患者さんの指導や助言をすることもあります。骨粗鬆症予防には「食事」と「運動」面のケアも重要で、管理栄養士が日々の食事についてアドバイスを行い、理学療法士は転倒防止の指導を担当します。患者さんの退院が決まれば、回復期リハビリ病棟の理学療法士がケアマネージャーと一緒に患者さんのご自宅を訪問し、転倒しやすい生活環境の改善提案をすることもあります。事務スタッフは病状など患者さんの情報を一元管理し、評価や効果をデータベース化することで、治療継続率や医療の質の向上につなげています。また、2012年から継続して地域住民向けの講演会も行っています。

2026年4月には、当院の骨折リエゾンサービスのこれら地道な活動と多角的なアプローチが評価され、骨粗鬆症や骨折予防に関する国際的な専門機関「国際骨粗鬆症財団(IIOF)」における国際評価「IIOF ベストプラクティスフレームワーク」のブロンズ賞を受賞しました。石川県内の医療機関では初受賞となり、私たちの誇りと励みになっています。



40～50代から骨量が減少、 健診で骨量を把握しよう

骨粗鬆症は高齢者の病気と思われがちですが、若年層でも過度なダイエットや運動不足、ステロイド薬などの副作用などが原因で発症することがあります。骨密度(骨量)は10代後半から20代中頃に最大値(ピークボーンマス)に達し、30代後半までその状態を維持しますが、40～50代から徐々に減少していきます。特に女性は閉経後に女性ホルモンが減少すると骨量が急速に減ってしまうため、注意が必要です。中年期になったら、市の健康診断などを活用し、自分の骨密度を把握しておきましょう。当院では骨粗鬆症に関する出前講演(ホームページ参照)も行っていますので、ぜひご参加ください。

骨粗鬆症の治療薬には「骨が脆くなるのを抑える薬」「新しい骨を作る力を高める薬」「カルシウムの吸収を助ける薬」などさまざまな種類があり、投与方法も内服と注射(自己注射や通院での注射)があるため、患者さんの病状に合わせ、なおかつ継続しやすいものを提案しています。また、骨粗鬆症治療では「薬」「食事」「運動」の3本柱に加え、「歯」のケアも重要です。骨粗鬆症の患者さんは歯周病になりやすいため、当院ではまず、入院患者さんに対して歯科医と連携した口腔ケアを実施しています。

FLSチームは「骨折の連鎖をくい止める」ことを目指して活動していますが、今後は「1回目の骨折も起こさせない！」ことを目指し、骨粗鬆症の軽症・未発症段階から治療介入していきたいと考えています。骨密度が気になる方、健康診断の骨密度検査で要検査の結果が出た方は、かかりつけ医、もしくは当院にご相談ください。かかりつけ医からの紹介状をご持参いただければ、当院とかかりつけ医のドクターで連携しながら適切な治療をご提案します。

骨密度(DEXA)測定検査

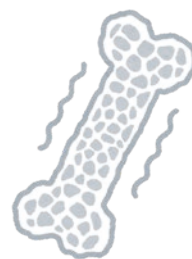
当院の骨密度(DEXA)測定検査は超音波での測定より精度が高く、被ばく量が極めて低いのが特徴です。

骨密度をアップする活動

- カルシウム(乳製品、大豆製品、魚介類、海藻、野菜など)やビタミンD(鮭、干しシイタケなど)、ビタミンK(納豆、緑黄色野菜)、たんぱく質(肉、魚、たまご等)を含む食品をとる。
- 適度な運動(散歩や体操)で、骨に適度な刺激を与える。
- 1日1回は日光を浴びる(日光浴はビタミンDを生成)。
- 過度な飲酒や喫煙をやめる。

健診センターだより 骨密度測定で未来の骨折を防ぐ ～健康な毎日を支える骨の健康チェック～

私たちの骨は、体を支えるだけでなく、内臓を守ったり、運動を助けたりする大切な役割を担っています。しかし、年齢とともに骨の量(骨密度)は徐々に減少し、骨がもろくなる「骨粗しょう症」を発症する方が増えてきます。骨粗しょう症は自覚症状がほとんどないため、「静かな病気」とも呼ばれ、骨折して初めて気付くケースも少なくありません。特に背骨や手首、太ももの付け根の骨折は、日常生活に大きな影響を及ぼします。高齢者では、骨折をきっかけに歩行が困難となり、介護が必要になることもあります。そのため、骨折を未然に防ぐことが健康寿命を延ばすうえで非常に重要です。



骨粗しょう症

骨粗しょう症は女性に多い病気として知られています。閉経後は女性ホルモンの減少により骨密度が急激に低下しやすくなるため、50歳を過ぎたら一度は骨密度測定を受けることをおすすめします。一方で、男性も加齢に伴って骨密度は低下するため、「男性だから大丈夫」と過信することはできません。

骨を丈夫に保つためには、カルシウムやたんぱく質、ビタミンDをバランスよく摂取することに加え、適度な運動も欠かせません。特にウォーキングや筋力トレーニングなど、骨に適度な負荷をかける運動は骨密度の維持に効果が期待できます。また、日光を適度に浴びることでビタミンDが作られ、カルシウムの吸収を助ける働きがあります。



GE社製X線骨密度測定装置

骨密度測定は、現在の骨の健康状態を知るための大切な第一歩です。当院では、骨粗しょう症の診断や治療効果の判定において、最も多く使用されている「DEXA法(デキサ法: 二重エネルギーX線吸収測定法)」を用いた骨密度測定装置を導入しています。

この検査は、微量のX線を腰椎(腰の骨)や大腿骨(太ももの付け根の骨)などに照射して骨量を精密に測定するものです。骨密度測定は短時間(5分～10分)で痛みも伴いません。測定結果から骨の状態を知ること、生活習慣の改善や必要に応じた治療を早期に始めることが可能になります。

骨粗しょう症は自覚症状がないからこそ、定期的に検査を受け、ご自身の骨の状態を正しく把握することが将来の骨折予防につながります。いつまでもご自身の足で元気に歩き、充実した毎日を送るために、**継続して骨の健康状態をチェックすること**が重要です。健診センターでは、オプション検査として「骨密度測定」を実施しております。ご自身の骨の健康を守るために、どうぞお気軽にスタッフへご相談ください。



お問い合わせ

浅ノ川総合病院 健診センター TEL:076-203-8050

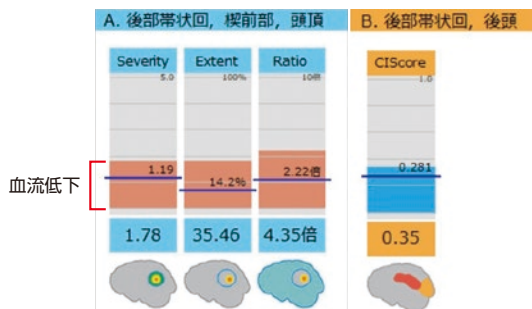
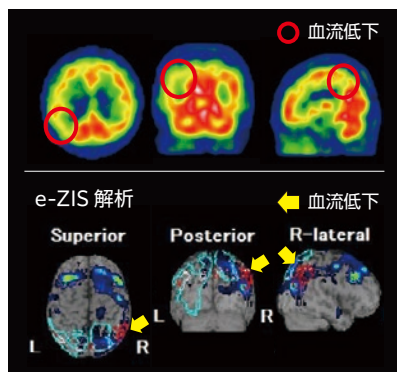
放射線科トピックス 脳血流検査(RI検査)のご案内

その物忘れ、“年齢のせい”で終わらせていませんか？

「最近、同じことを何度も聞いてしまう」「人の名前がすぐに出てこない」——そんな物忘れが気になることはありませんか。加齢による変化と思われがちな物忘れですが、その中には認知症や軽度認知障害(MCI)のサインが隠れている場合があります。浅ノ川総合病院では、**脳の血流状態を調べる『脳血流検査(RI検査)』**を行い、**認知症の早期発見・早期対応に取り組んでいます。**

脳血流検査(SPECT)とは？

脳のどの部分がどれくらい働いているかを、“血流”として可視化する検査です。MRIやCTではとらえられない早期の脳血流障害を捉えることができ、認知症の可能性やタイプの評価(軽度認知障害(MCI)、アルツハイマー型、血管性型、レビー小体型、前頭側頭型、など)の早期発見に役立ちます。



検査の流れ(30分ほどで終了します)

1. 検査薬の注射
2. 検査寝台に横になる
3. 撮影・画像収集

痛みは注射のときだけで、検査中は横になっているだけです。
日帰りで受けられ、身体への負担も少ない検査です。



このような方におすすめです

- ☐ 同じことを何度も聞いたり話したりする
- ☐ 物の置き場所を忘れることが増えた
- ☐ 約束や予定を忘れることがある
- ☐ 名前や言葉がすぐに出てこない
- ☐ 以前はできていたことに時間がかかる
- ☐ 家族や周囲から「物忘れ」を指摘された

未来のあなたのために

10年後の“あなた”は、今の“あなた”ですか？

脳の変化は、自分では気づきにくいものです。
気になる症状がある方は、どうぞお気軽にご相談ください。

認知症は、「予防」と「早期発見」の時代へ。
脳血流検査が、あなたの未来の安心につながります。



放射線科部長
米山 達也

『最近、もの忘れが増えたかな?』。そんなご自身やご家族の変化に、不安を抱えていませんか？

脳血流検査(核医学検査)は、脳の血流を画像化することで、頭の働きや病気のサインをいち早くキャッチできる非常に優れた検査です。検査というと身構えてしまうかもしれませんが、実際はベッドに横になっているだけの負担の少ないものです。『気のせい』と見過ごさず、まずは現状を知ることが健康な未来への第一歩です。どうぞお気軽に、いつでも私たちにご相談ください。

金沢で、もっと自由に。旅行透析のご案内

思い出に残る金沢のひとときに、 当院があなたの透析をしっかりサポートいたします

金沢への旅行、出張、帰省の際も、安心してお過ごしください。
当院では旅行透析(臨時透析)を積極的に受け入れております。
石川県内最大級の病床数を活かし、長期滞在の方にも対応可能です。



当院の特徴・快適な環境

● アクセス抜群

金沢駅から車で約 10 分。市内の主要観光地やホテルからの移動もスムーズです。

● 充実の設備

石川県内最大級の病床数を誇り、余裕を持った受け入れ体制を整えています。

● 快適な療養環境

無料 Wi-Fi を完備。透析治療中も、スマートフォンや PC でインターネットを快適にご利用いただけます。

ご利用対象の方

- 北陸・金沢方面へ旅行をご予定の方
 - 慶弔などのご都合で金沢に滞在される方
 - 金沢へのお出張を予定されている方
- その他さまざまなご事情での臨時透析に対応いたします。

透析対応時間

- 月曜～土曜：9：00～15：00
※午前中のご来院をお願いします。
※来院時間や透析時間については、患者様のご都合に合わせて事前にご相談に応じます。

当日の持ち物

- 紹介状および直近 3 回分の透析記録
- マイナンバーカード(健康保険証)、各種医療受給者証
- 透析用パジャマ、止血ベルト等(普段お使いのもの)
- 常用薬
- イヤホン(有料カード式テレビをご利用の方)

ご予約の流れ

- ※ STEP 1 ※ ご連絡・ヒアリング
お電話にて、氏名・希望日時・連絡先・現在通院中の施設などをお知らせください。
- ※ STEP 2 ※ 書類のご準備
現在通院中の施設へ「紹介状」「透析条件指示書」の作成をご依頼いただき、当院へ郵送または FAX にて送信してください。
- ※ STEP 3 ※ 確認・受け入れ決定
当院にて届いた書類を確認後、受け入れの可否について、ご本人にご連絡いたします。
- ※ STEP 4 ※ 最終確認のご案内
受け入れ確定後、紹介元施設へ「来院案内」を郵送または FAX いたします。

費用について

- 日本国内在住の方
・通常通りの保険適用となります。
・ご利用のマイナンバーカード(健康保険証)、各種医療受給者証に応じ、一部負担金(5,000 円～20,000 円)をいただきます。
※各自治体にて手続きを行うことで精算可能です。
- 海外からお越しの方
・全額自己負担となります。
・旅行保険をご利用される場合は、医療証明書等の発行費用が別途必要になります。

お問い合わせ

透析センター 〈ご予約受付時間〉平日 月～金 9:00～16:00
TEL:076-252-2101(代表) FAX:076-252-0561(地域連携室)

連携登録医のご紹介

今回は、河北郡津幡町の

『山田耳鼻咽喉科医院』を紹介いたします。

津幡町で診療を行っております、山田耳鼻咽喉科医院の山田健太郎です。浅ノ川総合病院の皆様には、日頃より手術症例を含め、多くの患者様を受け入れていただき心より感謝申し上げます。当院は1963年に祖父が津幡町で開業し、2022年に父から継承した私で3代目となります。2025年には同じ町内に移転いたしました。新医院では、超高齢化社会でますますニーズが高まる補聴器診療に注力すべく、防音室を2室完備いたしました。正確な検査と丁寧な調整を通じ、患者様の快適な「聴こえ」をサポートいたします。今後とも貴院との緊密な病診連携を大切にしながら、地域医療に貢献できるよう誠心誠意努めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



クリニック外観



院長 山田 健太郎 先生

山田耳鼻咽喉科医院

診療科：耳鼻咽喉科

経歴：2011年金沢医科大学医学部卒業、
同耳鼻咽喉科入局

2012年金沢医科大学耳鼻咽喉科 助教

2022年山田耳鼻咽喉科医院 継承

資格：医学博士

耳鼻咽喉科専門医

補聴器適合判定医

受付時間

	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00	○	○	○	/	○	/	/
14:30～17:45	○	○	○	/	○	/	/
9:00～12:45	/	/	/	/	/	○	/

休診日：木曜日、日曜日、祝日

住所：〒929-0342

河北郡津幡町北十条 11-130-1

電話：076-288-2084

駐車場：あり

アクセス：津幡駅から徒歩約10分



連携登録医とは

地域の医療機関と浅ノ川総合病院の相互連携を一層緊密にし、適切で切れ目のない医療の提携を目指して開始された「連携登録医制度」に登録していただいている医療機関の先生方です。

データで見る 浅ノ川総合病院

令和7年度、当院を受診した患者さんの数や、診療行為の実績、診療した疾患の上位などを掲載いたします。

・1日平均外来患者数・

420.7人

1日あたり外来を受診した患者さんの数です

・1日平均入院患者数・

423.9人

1日あたり入院された患者さんの数です

・救急車搬入数(年間)・

2,539件

(1日あたり7.0件)

救急車で搬入された患者さんの数です

・紹介患者数(年間)・

8,009人

(1日あたり21.9人)

他の医療機関から紹介された患者さんの数です

・逆紹介患者数(年間)・

4,543人

(1日あたり12.4人)

他の医療機関に紹介した患者さんの数です

・手術件数(年間)・

4,620件

(1日あたり12.7件)

入院手術と外来手術を合わせた件数です

・放射線治療患者数(年間)・

355人

ガンナイフ・リニアックによる放射線治療を行った患者さんの数です

・透析患者数・

127人

当院で透析を行っている患者さんの数です

・診療科別主要手術・

診療科ごとに件数の多かった手術を表示します

眼科 …… 白内障手術 硝子体茎離断術
増殖性硝子体網膜症手術

内科 …… 内視鏡的大腸ポリープ切除術
内視鏡的胆道ステント留置術

外科 …… 腹腔鏡下そけいヘルニア手術
内視鏡的大腸ポリープ切除術

泌尿器科 …… 経尿道的尿管ステント留置術

整形外科 …… 経皮的椎体形成術
骨折観血の手術(大腿)

・疾患別患者数ランキング・

当院を退院した患者さんの数が多い順に並べています

- 1位 …… 白内障
- 2位 …… 肺炎等
- 3位 …… 脳腫瘍
- 4位 …… 誤嚥性肺炎
- 5位 …… 大腸ポリープ
- 6位 …… 脳梗塞
- 7位 …… 腎臓・尿路の感染症
- 8位 …… 頭蓋・頭蓋内損傷
- 9位 …… 股関節・大腿近位の骨折
- 10位 …… てんかん



地域の方々に当院についてさらに深く知っていただきたいという意味をこめて、臨床指標や現場スタッフの声をホームページ上で公開しています。ぜひご覧ください。

新任医師紹介

令和8年5月に赴任された
医師を紹介します!



産婦人科
おりさか しゅんすけ
折坂 俊介

時代の変化によって医療ニーズも変化しているように感じておりますが、その変化に対応した医療が提供できるよう努めて参りますので、よろしくお願いいたします。

専門分野／産婦人科一般

お知らせ

✿ お盆休みのお知らせ

令和8年8月15日(土)はお盆休みにつき外来診療を休診いたします。
(救急の場合は救急外来で対応します)

✿ 病院祭2026のお知らせ

今年も病院祭を令和8年10月10日(土)に開催予定です。ご期待ください!

お問い合わせ先

広報誌に関する質問・投稿・ご意見などは広報室へお願いいたします。

TEL:076-252-2101(代) URL:<https://www.asanogawa-gh.or.jp/>
メールアドレス:kouhou-1204@asanogawa-gh.or.jp



浅ノ川総合病院
公式サイト



X(旧 Twitter)



Instagram